

厚生労働省福島労働局 定例報告会次第

平成28年8月30日(火)10:00～

福島合同庁舎 3階共用会議室

1 「雇用失業情勢（平成28年7月分）」について

2 「福島労働局からのお知らせ」について

【次回開催予定】

平成28年9月30日（金）10時～ 福島合同庁舎 3階共用会議室

厚生労働省福島労働局 定例報告会配布資料

I イベント・行事

1. 来春高卒者の採用選考が始まります

担当：職業安定課 坂内 電話：024-536-5396

- 平成28年9月5日(月)～ 学校から企業への推薦開始
- 平成28年9月16日(金)～ 企業による選考開始

※7月末現在の求人受理数は 7,420人(前年同月比1.3%増)。
前年度求人総数の81.1%に達する水準。
(別紙報道発表資料参照)

- 適性と能力に基づく公正な採用選考をお願いします。家族の状況や思想信条等に関する質問は就職差別とみなす場合があります。

2. ユースエール認定企業の認定通知書交付式を行います

担当：職業安定課 坂内 電話：024-536-5396

- 福島労働局は、「青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進法)」に基づき、若者の採用・育成に積極的で、離職率・有給休暇取得実績などが一定水準を満たしており、若者の雇用管理状況などが優良な中小企業を認定する「ユースエール認定企業」に、今年7月、下記の2社を認定しました(平成28年7月29日公表済み)。
この度、下記日程により、認定通知書(認定マーク)交付式を行います。

● 認定企業

○水谷工業 株式会社(一般土木建築工事業) 【認定年月日 平成28年7月20日】
所在地 石川郡石川町字当町11
従業員(正社員)数 36名 **※建設業では全国初!**

○株式会社 センワ(繊維製品製造業) 【認定年月日 平成28年7月27日】
所在地 東白川郡鮫川村大字赤坂中野字道少田53
従業員(正社員)数 32名
※繊維関連製造業では全国初!

● 認定通知書交付式

日時 平成28年9月12日(月) 午後2時から
会場 福島合同庁舎 3階会議室(福島市霞町1-46)

Ⅱ 法令の施行

1. 福島県最低賃金を726円（時間額）に改定決定

担当：賃金室 白井 電話：024-536-4604

- 福島労働局長は、8月5日に福島県最低賃金審議会より改定答申のあった福島県最低賃金について、8月23日に答申どおり21円引き上げ726円（時間額）に改定することを決定しました。
- 改正された最低賃金額は、官報公示を経て発効します。発効予定日は10月1日。



Ⅱ 公表事案

県内労働災害発生状況

担当：健康安全課 近藤（電話：024-536-4603）

平成28年7月末の災害発生状況をとりました。

業種	年別	平成28年		平成27年		対前年	
		死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率
全業種合計		10	1008	11	937	71	7.6
製造業		2	220	1	208	12	5.8
鉱業		0	6	0	4	2	50.0
建設業		4	210	6	236	-26	-11.0
運輸交通業		0	122	1	101	21	20.8
貨物取扱業		0	8	0	11	-3	-27.3
農林業		1	43	1	27	16	59.3
畜産・水産業		0	5	0	10	-5	-50.0
上記以外の事業小計		3	394	2	340	54	15.9
商工業		1	133	1	113	20	17.7
金融広告業			7		4	3	75.0
保健衛生業			83		60	23	38.3
接客娯楽業			67		57	10	17.5
清掃・と畜業		1	44		53	-9	-17.0
上記以外の事業		1	60	1	53	7	13.2

(注) 1 労働者死傷病報告（休業4日以上）により作成したものです。

2 「-」は減少を示します。

【次回の福島労働局定例報告会の開催予定】

平成28年9月30日（金）10:00～

福島合同庁舎3階共用会議室（本日より同じ会場）



福島労働局

— 最近の雇用失業情勢《概要版》 —

1 県内概況

- 県内の有効求人倍率は、前月を0.03ポイント下回る1.40倍となった。
- 県内の雇用失業情勢は、一部に厳しさが残るものの改善が続いている。

基調判断

- 《前月から据置》 改善が続いている

判断根拠

「改善が続いている」

- 全国水準を上回り、1.3倍以上を維持。(30カ月連続)
- 新規求人数は、引き続き高水準で推移。(※14,892人)
- 県内すべてのハローワークで有効求人倍率(原数値)が1倍以上。

「一部に厳しさ」

- 「職種」では事務の有効求人倍率が低い。

2 今回の動き(平成28年7月分)

新規求人数

(※1ページ参照)

- 1万4,892人 (前年同月比▲12.4%減少・原数値)
- 主要産業別の増減数(前年同月差)
「サービス業」(▲889人) 「建設業」(▲690人) 「医療・福祉」(▲170人) 「製造業」(▲135人)

新規求職者数

(※1ページ参照)

- 7,330人(前年同月比▲0.2%減少・原数値)

全国順位

全国の有効求人倍率 1.37倍(7月)

(※2ページ参照)

- 「受理地別」の有効求人倍率:1.40倍(季調値) 全国 17位
前月13位(1.43倍)、前々月11位(1.47倍)
- 「就業地別」の有効求人倍率(参考指標):1.59倍(季調値) 全国 9位
前月8位(1.60倍)、前々月5位(1.65倍)

地域別

(※2ページ参照)

- 県北地域:1.25倍、 県中・県南地域:1.29倍、 会津地域:1.27倍
いわき地域:1.56倍、 相双地域:2.00倍

職種別

(※4ページ参照)

- 有効求人倍率が高い職種:「建設」2.44倍、「介護」2.80倍など
- 有効求人倍率が低い職種:「事務」0.37倍など

新規求職者の態様別

(※9ページ参照)

- 前年同月比で 「在職者」 求職者数は、 ▲ 0.4%減
- " " 「事業主都合」 離職者数は、 + 6.4%増
- " " 「自己都合」 離職者数は、 + 0.7%増

正社員

(※11ページ参照)

- 有効求人倍率 0.91倍(前年同月比 ▲0.02P減)

3 今後の見通し

- 復興需要などを背景に求人は高水準を維持し、求職者は低水準で推移すると見込まれる。

全国の動き

全国概況（厚生労働省・7月）

- 「現在の雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。」《判断維持》

有効求人倍率

- 1.37倍（季調値・前月と同水準）

完全失業率

※総務省統計局「労働力調査」

- 3.0%（季調値・前月比0.1P低下）

完全失業者数

- 203万人（原数値・前月差7万人減少）

経済の動向

※内閣府「月例経済報告（8月）」（平成28年8月24日）

- 《景気判断》 「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」
- 《雇用情勢判断》 「雇用情勢は、改善している。」

5 県内・他機関判断

※日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」（平成28年6月分・平成28年7月1日）

- 県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。

※福島県「最近の県経済動向」（平成28年8月24日）

- 県内の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、着実に持ち直している。

《職業安定業務統計の用語解説》

- ◇就職件数 ⇒ 有効求職者が安定所の紹介により就職したことを確認した件数。
- ◇充足数 ⇒ 有効求人が、安定所の紹介により求職者と結合した件数。
- ◇就職率 ⇒ 求職者に対する就職件数の割合をいい、「就職件数」を「新規求職申込件数」で除して算出。【「就職件数」÷「新規求職申込件数」×100】
- ◇充足率 ⇒ 求人数に対する充足された求人の割合をいい、「充足数」を「新規求人数」で除して算出。（全国計の場合は、「就職件数」を「新規求人数」で除して算出。）【「充足数」÷「新規求人数」×100】